



学校だより 2月号

石川小学校 学校教育目標
育てます。「石川魂」

令和5年1月31日
横浜市立石川小学校
校長 寺園 淳

地域とともに歩んで150年

副校長 橋爪 純子

まもなく2月。今年度も残り2か月となり、1年間のまとめをする時期となっています。

子どもたちはもちろんですが、学校としても、学校運営の振り返りを行い、次年度へつなげていけるようにと考えています。先日、保護者の皆様にご協力いただいた学校アンケート等の内容も今後の学校経営に生かしてまいります。

今年度、平楽中学校ブロックでは、学校運営協議会を立ち上げました。平楽中学校・中村小学校・石川小学校は、小・中学校9年間で育てたい子どもの姿を共有しながら教育活動を進めています。学校運営協議会は、地域・保護者の皆様と学校が目標を共有し、学校運営に参画していただきながら地域に開かれた信頼される学校づくりを進めるとともに、よりよい教育を実現することを目的に設置された法律に基づく機関です。中村町連合町内会・南区連合町内会会長である吉井 肇 様を会長とし、15名の、地域（町内会長等）・保護者（PTA 会長）・学識経験者の方々と学校長を委員として構成しています。子どもや学校の抱える課題の解決や、未来を担う子どもたちの豊かな成長のためには、学校だけではなく、地域とともに取り組む教育の実現が不可欠です。横浜市では、学校運営協議会の充実は、学校と社会が連携・協働しながら、新しい時代に求められている資質・能力を子どもたちに育む「社会に開かれた教育課程」の実現につながる大切なことと考えています。

【令和4年度 平楽中学校ブロック学校運営協議会日程】

| | | |
|-----|--------|-------------------|
| 第1回 | 6月24日 | 平楽中学校にて（開設準備委員会） |
| 第2回 | 10月29日 | 石川小学校にて（授業参観含む） |
| 第3回 | 11月26日 | 中村小学校にて（授業参観含む） |
| 第4回 | 2月17日 | 平楽中学校にて（令和4年度まとめ） |

本校で実施した第2回においては、石川小学校の教育活動について共有しました。授業参観では、1人1台のタブレット端末を用いた授業もありました。協議会の際、ICT活用の具体についてのご質問をいただくと同時に、端末での入力は漢字変換が容易になるという便利さがある反面、漢字を覚える力が弱くなるという弊害もあるのではないかとのご心配もいただきました。子ども自身が書くという活動も大切にして欲しいというご意見もありました。本校では、年に2回、石川小漢字検定を実施しています。1月末に2回目の検定を行いました。このような機会を通して、書くことで漢字を覚え、生きた文章の中で適切に漢字を用いて、自分の考え等を書くことができることを目指しています。

このように、いただいたご意見を生かしながら、日々教育活動を進めています。今年は150周年という大きな節目を迎えます。今後も、地域の皆様とともに、子どもと社会がつながる学校づくりをしてまいりたいと思います。ご支援、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。